

【記載例 1】

平成〇〇年(ワ)第〇〇〇〇号 〇〇〇〇請求事件

印紙 (500円)

申立人 (原告) 〇〇〇〇株式会社

被告 〇〇〇〇株式会社

閲覧等制限の申立て

平成〇〇年〇〇月〇〇日

東京地方裁判所 民事第〇〇部〇係 御中

原告訴訟代理人弁護士 〇 〇 〇 〇 印

原告訴訟代理人弁理士 〇 〇 〇 〇 印

原告補佐人弁理士 〇 〇 〇 〇 印

上記当事者間の頭書事件につき、申立人は、民事訴訟法92条に基づき、閲覧等制限の申立てをする。

第1 申立ての趣旨

御庁平成〇〇年(ワ)第〇〇〇〇号〇〇〇〇請求事件の訴訟記録中の甲〇〇号証 (平成〇〇年〇〇月〇〇日付けソースコード比較対照表)、甲〇〇号証 (〇〇プログラムのソースコードを記録したCD-ROM) 及び甲〇〇号証 (〇〇〇〇作成の検討結果報告書) については、閲覧若しくは謄写、その正本、謄本若しくは抄本の交付又はその複製の請求をすることができる者を本件訴訟当事者に限る。

第2 申立ての理由

1 申立ての趣旨記載部分には、申立人の保有する営業秘密が記載され、又は記録されている。

すなわち、・・・・・・・・

2 よって、申立人は、民事訴訟法92条1項に基づき、申立ての趣旨記載のとおり、閲覧等の制限をされたく、本申立てをする。

以上